

ブランド戦略

「グランドセイコーのブランディングを強化します」

セイコーウォッチ株式会社
代表取締役社長 兼COO兼CMO
高橋 修司



新年あけましておめでとうございます。2018年は「グランドセイコー」として、米国においてグランドセイコー専門の販売会社「グランドセイコーオプティカ」を新規設立し、海外市場でも大きく飛躍する年となりました。「プロスペック」は、本格スペックを搭載したモデルを筆頭に幅広いお客様に好評をいただきました。また、「1968メカニカルダイバーズ復刻デザイン」がジュネーブ時計グランプリで「スポーツ」部門賞を受賞し、オッチ業界からも高い評価を頂きました。「アストロン」は新開発のムーブメントを搭載し、機能とデザインをさらに進化させた第三世代「5Xシリーズ」を発売しました。

これらの成果もひとえに皆様のご支援のおかげです。厚く御礼申し上げます。

2019年「グランドセイコー」は、さらなる飛躍に向けてマーケティングを強化してまいります。

これまで誕生以来大切にしてきた正確さ・見やすさ・美しさといった機

能的価値に加えて、当社独自の匠の技や日本の美意識をテーマに感性価値を高め、ブランドの個性を表現してまいります。

商品面では、グランドセイコーを代表するムーブメントであるスプリングドライブをはじめとして、レディスモデルの拡充など、独立ブランドに対応しいコレクションの充実を図ります。流通につきましても、ビバリーヒルズ、ソウルに続き、世界のメカシティにグランドセイコー専門ブティックを展開する予定です。

グランドセイコーは、商品、プロモーション、流通などあらゆるマーケティング施策を研ぎ澄ませ、高級ブランドとしての確固たるポジションを築いてまいります。

私たちセイコーは、「時代とハートを動かすSEIKO」という企業スローガンのもと、独自性の高い商品とプロモーションにより、お客様の感性に深く働きかけ、国内ウォッチ市場を牽引していきたいと思っています。

なにとぞ本年も皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新しい100年に向けて新たな一歩を

シチズン時計株式会社
常務取締役
竹内 則夫



当社はみなさまの「支援・協力のもと昨年創業100周年を迎えることができました。創業以来、時計の本質と新たな可能性を追求してきたシチズンは、「精度への挑戦」を最重要課題のひとつに掲げてまいりました。そして私たちがたどり着いたのが「年差±1.0秒」の超高精度「エコドライブムーブメント」(Calibre 0100)です。昨年のバーゼルワールド2018では、ポテトウォッチ型に仕上げ、参考出品致しました。本年はこのムーブメントを搭載する腕時計を発売いたします。

フラッグシップモデル「Eco-Drive One」(HDドライブ)は昨年、サーメット製のケースに、新しい硬質素材「アルテック」製のベゼルをあわせたモデルに加え、スーパースターライトの美点を融合させたモデルを発表しました。また、製造から完成設計の組み立てまでを行う「モノマニファクチュール」を実現し、光発電時計の開発に40年以上も継続して取り組んできたからこそ実現できた「Ecoドライブ」は、ラインアップを充実させ高い評価をいただいております。

誕生以来、世界中のプロフェッショナルのための本格スポーツウォッチを生み出してきた「プロマスター」は、今年で30周年を迎えます。機能性、耐久性、安全性を極限まで高めた腕時計を、陸、海、空、それぞれのカテゴリーでも本年も展開してまいります。

エシカルなものづくりと光発電「Ecoドライブ」による新感覚ラグジュアリーウォッチ、シチズン「エルヤ」、高性能ファッションウォッチ、そして中価格帯市場でレディスNo.1のクロスシーは、本年もお客様のニーズに合った腕時計を提案してまいります。

「新たな価値を生み出す技術開発で時計市場に活気を」

カンオ計算機株式会社
取締役専務執行役員
増田 裕一



新年明けましておめでとうございます。2018年は、平素よりのご厚情と引き立てに厚く御礼申し上げます。本年も引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。近年、スマートウォッチの登場により、腕時計に対する価値観が多様化しております。これにより、機能の追求もさることながら、従来の以上に腕時計に対する新しい価値を提案することが求められてきています。当社では、先進のエレクトロニクス技術を活かした機能や性能を追求するだけでなく、素材や構造といった分野においても進化を遂げることで、従来の腕時計にはない新たな価値を生み出すものに注力してまいりました。昨年発売したスマートウォッチのSHOCK「5000」シリーズ初のフルメタル仕様モデルは、その例です。新たな耐衝撃構造を開発することで、初代SHOCKのフォルムをそのままフルメタル化を実現しながら、Bluetoothによるスマートフォンの連携という最先端技術も搭載するなど、素材、機能、構造とあらゆる面でSHOCKが進化していることを皆様にお伝えできたと感じています。

本年も引き続き、新たな価値を生み出すものづくりを通して、時計市場に活気を与えたいと考えております。中でも時計市場の大半を占めるメタルウォッチにおいて、SHOCKを中心に、色、材質、質感等を進化させることで、お客様の感性に響く製品を開発してまいります。そして、市場が急速に顕在化したスマートウォッチの分野においても、時計と携帯電話を手掛けた唯一の存在であるという自負のもと、ユーザーの期待を超える商品を開発してまいります。また、SNSの普及に伴い、今後はブランドの世界観をお客様へよりダイレクトに伝えていくことが重要になっていくと感じています。当社では以前より、ユーザーがSHOCKの世界観を実感しやすくなるよう、工場として、世界各地で積極的にイベントを開催してまいります。国内においても、昨年12月に渋谷で行った「SHOCK FAN FESTIVAL」は、SHOCKが街中をジャックするというコンセプトの下、音楽やファッションといったカルチャーを通して、多くのファンがSHOCKの世界観を感じていただきました。本年もこうした活動により、多くの方に当社の腕時計に共感していただくよう努めてまいります。最後に、皆様方のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

匠の技と、最先端のウェアラブル技術で新たな価値を生み出していく

本年も皆さまからのご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

創業以来磨いてきた匠の技と、最先端のウェアラブル技術を持つ、エプソンの強みを生かして、新たな価値を持つ、我々にしかできない時計商品として、これからも提案させていただきます。

また、機械式時計を展開する「ORIENT STAR」も、メカニカルムーブメントを軸にした時計の魅力を最大限に生かすべく、最新の技術と最先端のウェアラブル技術を融合させた独自のブランドであり、特徴的な販売と着実なブランド浸透を進めることができました。

2019年も引き続き、エプソンの持つチャネ特性を生かして、取り組んでまいりたいと思っております。

「PRIME」は1942年の創業以来セイコーエプソンの前身である(有)大和工業の創立培ってきた時計開発・製造技術とセンシング技術を融合させた独自のブランドであり、特徴的な商品をお客様にお届けし、好評を得ることができました。

「オンリーワンクロックによるギフト需要の喚起へ」

リズム時計工業株式会社
代表取締役社長
樋口 孝二



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年以降、当社ではブランド普及のために、テレビCMやスポーツマーケティングなど様々な活動を行ってきており、今後も継続させていく予定です。昨年を第一歩進め、新たな取り組みもスタートさせており、そのひとつがパブリックスペースに当社のクロックを設置する企画です。人が多く集まるような場所、待ち合わせスポットになるような場所に、シンボリックな時計を順次設置してまいります。RHYTHMブランドの認知を拡大とともに、地域の皆様と共に発展していきたいと思っています。

10月には日本野鳥の会との共同企画「四季の野鳥報時掛時計」を発売しました。個性豊かな49種類の野鳥の鳴き声が収録されており、臨場感あふれる鳴き声を鮮明に再現するため、徹底的に技術に拘った製品で、大変好評をいただいております。また、デパート、時計専門店での

取り扱いとなりますが、ギフト需要の掘り起こしを狙った「オンリーワンクロック」企画をスタートさせました。木種を自由に組み合わせることができ、セミオーダーメイドの製品が第一弾で、「思いを込めた世界でひとつだけのギフトクロック」がコンセプトの製品です。高級品ではありますが、発売から好評に推移しています。オンリーワンクロック企画の第二弾として、スタンドグラスを使ったクロックも発売間近です。

この他にも中高級品を軸にデザイン・機能・品質にこだわった製品、IoTやBluetoothを利用した次世代クロックの開発を行うと共に、SNSをはじめとしたメディアへの情報発信もしながら、クロック需要の喚起に取り組んでまいります。

末筆ではございますが、業界の皆様におかれましては、今年もご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。また、益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

2019年 節目の年を迎えて

セイコークロック株式会社
代表取締役社長
萩原 健一



最後になりましたが、新年が皆様にとって素晴らしい一年となり、心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

そのような状況の中において、当社は時代に相応しい新たな価値の創造を追求し続け、消費者の皆様が新鮮な魅力を感じていただけるような商品の開発に注力して参りました。

2018年を振り返ると、国際関係では韓国と北朝鮮による南北首脳会談から米朝首脳会談の実現、スポーツの分野ではサッカーワールドカップロシア大会、大阪の注目を集める様々な出来事がありました。また、経済面においては、米中両大国の貿易摩擦が世界経済、特に貿易に大きな影響を与え、為替レートも112円台から始まり4月は一時104円台まで円高が進んだものの、12月は113円台に戻すという変動の一年となりました。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

CASIO

江戸切子ベゼルの新しい青。

「薄瑠璃」の江戸切子ベゼルと、Bluetooth®による時刻精度。Manta S4000誕生。



OCEANUS
Manta

世界限定 3,000本
OCW-S4000D-1A.F
200,000円(税別)